

幼児教育科 主要科目のねらい、特色、内容

保育原理
【ねらい】 「保育」について、目的・基礎的な考え方・内容と方法・幼児教育施設の特徴・歴史の変遷・現状と課題等を学び基礎的な知識を身に付ける。
【特色】 主体的に周囲の環境にかかわりながら日々成長していく子どもの姿を念頭に置きながら、「保育」について、および保育者のあり方について考える授業を展開している。
【内容】 ビデオ等を活用し、子どもたちの行動について観察・協議を行い、子どもにとって必要なくもの・情報・援助>についての理解を深めていく。

保育者論
【ねらい】 保育者に求められる姿勢や社会的役割、資質・能力について学び、保育者の専門性について多角的視点から考察することを目的とする。
【特色】 保育者となるにあたって自律的な学習者となれるよう、本授業を通して、その基盤を形成し、生涯学び続けることができる保育者となることを目指す。
【内容】 保育者の専門的力量形成について、様々な視点から学ぶことで、自己の保育者像を形成し、保育職への意欲を高め、志望を明確にする。様々なモデルとなる教育者（援助者）について知ることを通して、自分なりの保育観を形成し、保育者の専門性への理解を深める。また保育者として働く上で重要である主体性や協働性の基礎を、グループディスカッションやグループワークを通して身につける。

教育原理
【ねらい】 教育の基本的概念について学ぶ授業であるため、保育者になるために必須の教育理念を理解することを目的とする。
【特色】 本授業を通して、教育の本質とは何かを考えるきっかけを得ることができる。過去や世界の教育を知った上で、現在の日本の教育を見ることで、広い視野のもと教育実践に取り組むことができるようになることを目指す。
【内容】 教育原理とは、教育の基本的概念について学ぶ授業である。幼稚園教諭と保育士になるにあたって共通に身につけておかなければならない教育の理念を理解することを目的とする。教育に関する基礎・基本を押さえた上で、西洋と日本の教育の差異やその相互関係についての考察を深め、世界的な教育史の動向を把握する。

健康領域指導法演習

【ねらい】

保育者が保育現場で必要とする「子どもの心身の健康」について理解を深め、保育実践における基本的な視点について学ぶ。

【特色】

子どもの健康に関する基礎理論を学びながら、現代社会で起きる様々な健康に関する諸問題を取り上げて考察する。子どもの健やかな育ちのために役立つ知識や情報を活用していくことができるよう講義を進める。

【内容】

領域「健康」の内容に沿って、子どもの心身の発育・発達、遊びの意義、食育、生活リズム、基本的な生活習慣、自立心の育成、遊びにおける社会性の発達、安全教育、指導案などを扱う。

人間関係領域指導法演習

【ねらい】

幼児期の人と関わる力の育ちを、保育者としてどのように捉え、指導・援助していくかについて理解を深める。

【特色】

具体的な保育場面を想定して、保育者の関わり方を検討する授業を設ける。

【内容】

乳幼児期の対人関係の発達、幼稚園教育要領及び保育所保育指針等の領域「人間関係」

保育指導法演習

【ねらい】

一人一人の幼児の育ちに添った適切な指導・援助ができる保育者を目指して、基本的な姿勢・技能を学ぶ。

【特色】

保育実践室を利用し、ロールプレイ等を行いながら実践的に学ぶ演習授業を展開している。

【内容】

指導案の作成と保育実践・評価・反省、ごっこ遊びの指導、劇遊びの指導、ゲームの指導等を教材作成等も含めて行っている。

幼児体育（運動あそび）・幼児体育（身体表現）

【ねらい】

幼稚園教諭、保育士として幼児を対象に運動遊びやダンス・表現運動などを指導する際の基礎的な理論や指導方法を習得する。

【特色】

主に実技を伴う実践的な授業を行い、模擬授業や発表会制作の実践を通して実際の活動をシミュレーションし、具体的な指導方法や理論学習を深める。

【内容】

子どもの運動あそび・運動発達、子どもの身体表現・表現発達、発表会の運営、ダンス・表現・運動の基礎実技と理論などを扱う。

発達心理学

【ねらい】

発達心理学・教育心理学といった保育に関わる心理学の基本的な知見を理解するとともに、行動科学的な視点を身につける。

【特色】

保育者養成の場であることを鑑みて、乳幼児期の発達と大人による発達援助に力点を置き、また、現実を生きる子どもの姿を発達臨床的に捉える視点を織り込んでいる。

【内容】

生涯発達の視点を踏まえつつ、発達規定因・初期環境・主要な理論や研究・遊びの中での発達・発達援助の基本的な考え方などについて、できるだけ具体的な事例等を用いて講義する。

乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ

【ねらい】

乳児保育の変遷を知り、保育所・こども園・乳児院・家庭の現状を確認しながら地域ニーズや保護者対応など現代社会の実態に即した乳児保育の意義、理念、内容、方法、役割等を身につける。

【特色】

講義と演習・グループワーク等によりすすめる。講義では保育場面の映像を活用し、具体的な理解へと繋げる。また学生同士がディスカッションすることによりお互いに乳児保育への理解を深める授業展開をする。

【内容】

乳児を主体に「身近な人やものと関わり・健やかに伸び伸びと育つ」という三つの視点における育ちが1歳以上の五領域における育ちへとつながっていくことを意識しながら、この時期の子どもの生活や遊びの充実が図られることの重要性について具体例を用いて講義する。

社会福祉

【ねらい】

社会福祉の全体像について講義を行い、「社会福祉」とは何かを理解し、その体系を知る。

【特色】

保育士必修科目として、1年時講義する。また、保育者として基本学問としてマスターし、個々の学生が興味を持った分野について他の科目と関連させ、学習の機会となることを望んでいる。

【内容】

社会福祉の歴史、制度・政策、援助方法、法体系や組織運営などを取り上げる。

造形演習

【ねらい】

これまでの造形学習の内容を基礎として、特に幼児教育に応用可能な造形表現技法についてより発展的・専門的に理解を深め、具体的な制作を通しての造形技法の修得を目的とする。幼児の美的感性、創造的姿勢の育成を目指した造形的な活動に用いる資料の作成や、指導の要点などについても考察を行い、造形指導におけるより現実的な力量の養成を目指す。

【特色】

本科目は、造形に関してより専門的なアプローチを試みようとする学生が、着実に学習内容を深めて行けるよう、立体または平面のコースを選択のうえ、少人数のゼミ形式で授業を展開している。このため、課題に応じて美術館見学等の学外授業も実施される。表現技法の修得と課題設定演習を通して、学生自身の問題解決能力・独自の観点・考察的姿勢等を伸ばすため、個別の指導が受けられるように構成されていることがこの科目の特徴である。

【内容】

立体クラスの課題

卓鈴おもちゃの制作・テラコッタ粘土を用いた制作・タタラ技法を用いた制作・課題設定演習

平面クラスの課題

・テンペラ画<卵で作る絵の具>・紙額制作・アートプロジェクト演習・課題設定演習

在宅保育

【ねらい】

子育て支援の一環としての在宅保育の社会的役割や必要性について理解を深め、保育者（ベビーシッター）だけでなく施設保育者や在宅保育に関わる様々な人にも役立つように、理論と実践の両面から在宅保育を学ぶ。

【特色】

講義とグループワークによりすすめる。講義ではDVDなど保育場面の映像を活用し、具体的な理解へと繋げる。また受講生同士が討議することによりお互いに理解を深める機会を提供する。

【内容】

在宅保育の社会的使命と役割、在宅保育の特徴と保育内容、在宅保育における事故予防と対応、健康管理、在宅保育の様々な保育形態（病児病後児保育・産後ケアと乳児保育・送迎、同行保育など）について講義する。